

2025/5/7 畑実習 植え付け

第 1 班分

BACK

松原先生

作業手順

- ・マルチ外し・除草
- ・耕す（軽く）



・ハウスのアーチ立て

支柱たて & 下部の横骨設置

1.8m幅 x9m 長 支柱 6 本（1.8mスパン）

30cm 深の穴をあける。アーチを立てる。高さ調整。

横骨：地面近く 1 本



・植え付け

位置決め

株間 50cm

かん水

穴満タン 3 回

植え付け

ミニトマト アイコ

中玉トマト ももこちゃん

レッドオーレ

万願寺とうがらし

千両なす

（すべて接ぎ木なし苗）

もみまき

かん水

有機農薬散布

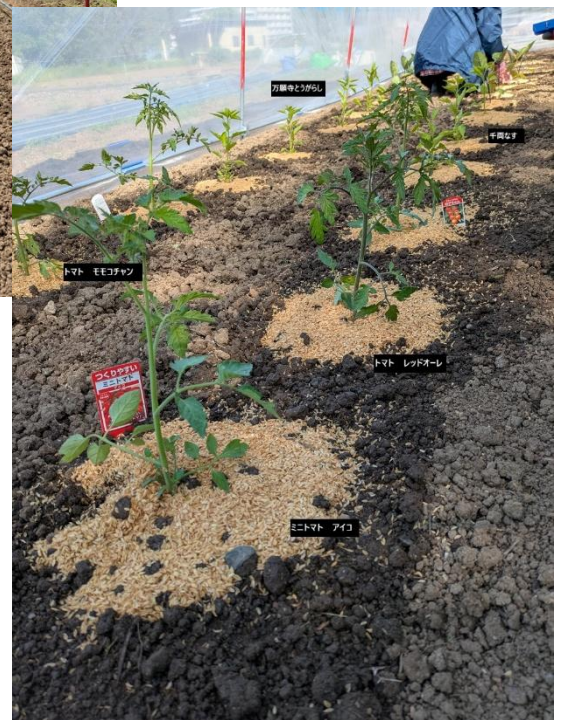
タバスコ 30ml

酢 50ml

ニンニク 4 片

焼酎 30ml

100 倍に希釈 を葉・茎に散布





・種まき

位置決め

筋切り

30cm 毎

かん水

種まき

3cm 毎 1粒ずつ

ホウレンソウ ミラージュ

二十日大根

覆土

かん水

もみまき



・ハウス仕上げ

上部の横骨設置

ネット幅に合わせた高さ 約 1.5m 高

ネット張

サイド面 及び 天面

ポリフィルムまき

サイド面のみ



水やり等の世話する時は、パイプパッカーを外して、ネットを必要分だけ上げて作業する。(虫が入らないよう注意)

## ・水やり等管理作業

週2回程度は管理作業が必要

- ・水やり 葉っぱにはかけないよう、根元に与える

- ・追肥

2週おき程度 ダイナミックス ペットボトルのキャップ1杯/株。株の葉の端ぐらいの位置。

- ・支柱たて、誘引、脇芽とり

- ・収穫

- ・観察 葉の色、虫食い等々

- ・観察日誌記録

## ・品種ごとの注意事項

### 【トマト】

接ぎ木苗は接いだ部分は地面の上に出すこと。（地面内に埋めると接ぎ木苗の意味がない）

接ぎ木苗のメリット：根の張りがよい＝大きくなる、連作障害がない。

- 連作障害は病気の微生物が増加、不要な肥料成分が濃くなる等が原因

対策として、異なる科の商物を植える、接ぎ木苗使用、有機肥料使用、天地返しなど水をやりすぎない ナス、とうがらし、キュウリ等に比べて水は絞る。

葉の3節ごとに花芽が出る。最初に出る花芽は実の味が悪いので成らせずに摘花する。

1本仕立てはすべての脇芽を取る。2本仕立ては花芽の下の脇芽を伸ばして仕立てる。

### 【ナス】

3本仕立ては可。最初に出る花芽の下2つの脇芽を残して伸ばす。

最初に出る花芽は実の味が悪いので成らせずに摘花する。

### 【ピーマン・とうがらし】

3本または4本仕立て可。最初に出る花芽付近の3または4本の脇芽を伸ばす。

### 【キュウリ】

5節までの花は摘花

## ・誘引について

支柱を立てて、枝を沿わせる。

株の2/3ぐらいの高さで誘引する。

誘引するヒモは荷造りヒモを使用。支柱に縛り付けるのではなく、ヒモが8の字になるように余裕をもって縛る。

縛る場所は葉の上または花の下で（ずり落ちない 花を傷つけない）

